

下町エリアを
まち歩き
しませんか？

下町エリアを まち歩き しませんか？

市では、中心市街地が便利で巡りやすくなるように、

宮川河川周辺の整備を進めています。

4月11日にオープンした

飛驒高山にぎわい交流館「大政」について紹介します。

「大政」オープン



飛驒高山にぎわい交流館「大政」オープニングセレモニー

中心市街地の現状 ―課題は回遊性の向上―

中心市街地とは、本町通りや国分寺通り、安川通りなどを中心とした住宅や店舗が集まる地域です。

中心市街地においては、都市機能の集積を図るとともに、まち歩きの楽しさを高めるための利便性や回遊性の向上、滞留時間の延長、町並みの景観保全などを図り、「観光まちづくり」の視点に立った取り組みをすすめることが課題となっています。

特に、国道158号線以北の宮川河川軸の周辺エリア(下町エリア)においては、市民や観光客の回遊性の向上や滞在時間の延長の観点から、下町エリアに人の流れを「誘引」し、誘引した人を「滞留」させ、滞留した人を周辺エリアへ「誘導」する機能を果たす空間となるよう、宮川朝市通りの美装化や本町3・4丁目と宮川朝市を結ぶ「行神橋」の整備など中心市街地の活性化に取り組みんでいます。

今回、その取り組みの一環として、飛驒高山にぎわい交流館「大政」をオープンしました。この施設は、まちなかの案内や観光案内のほか、市民や観光客が自由に休める憩いの場としての活用、施設と施設前の市道を活用したイベントの開催などを通して、まち歩きの楽しさが高まり、中心市街地のにぎわいが創出されることを目指しています。地域の皆さんと一緒にまちを盛り上げていきたいと思えます。ぜひ「大政」にお越しただき、まち歩きをしてみませんか？